

令和 7 年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
農産・蚕糸部門

徹底した土壌分析による高品質多収生産

○氏名又は名称 東与賀農事組合法人（代表 徳久 繁樹）

○所 在 地 佐賀県佐賀市

○出 品 財 経営（小麦、二条大麦）

○受 賞 理 由

・地域の概要

佐賀市東与賀町は、佐賀市南部の有明海沿岸に位置し、標高は高いところで2.8m、低いところでは0.4mと起伏の極めて小さい純平坦地となっている。土壌は軟弱な重粘土質で、養分面では肥沃である。夏季は高温多湿、冬季は寒冷少雨で平均気温は15.9℃、平均降雨量は2,024mmと温暖な気候に恵まれており、米・麦・野菜などの栽培に適した地域である。また同町は、町内全地区において基盤整備が完了している。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

東与賀農事組合法人は、84戸の農家で構成され、積極的な集落農地の維持やコスト低減により、構成員の所得向上を図っている。構成員は、管内の構成員だけでなく、同地区の大規模農家とも情報交換を行い、技術研鑽に努めている。また、農作業安全に対する意識が高く、事故は法人設立後5年間で1件も発生していない。

・受賞者の特色

（１）土壌分析による適切な施肥

麦の作付け前には構成員一人ひとりがほ場から土壌を採取し、JA にサンプルを持ち込み、土壌分析センターで土壌分析を実施。分析結果に基づいて適切な量の石灰質資材をほ場に投入して酸度矯正を行うことで、高品質かつ収量の高い麦生産を行っている。

（２）法人・JA が一体となった栽培・営農管理

月1回以上理事会を開催し、法人として全体的な作業方針を決めている。また、生産コストの低減に向け、一斉播種により生育を均一化し適期作業を行うことで労働時間の低減を図るほか、生産資材は通常より安価な「早期予約購買」や「満車直送」を活用することで資材費の低減を図っている。

・普及性と今後の発展方向

法人での作業の共同化を進めることで、さらなる労働時間の削減・コスト低減を図るとともに、ほ場の特性に合った栽培管理を行うことでさらなる高品質多収生産が期待できる。また、若手の参入を図るため、農事組合法人から株式会社に組織変更し、給与制を導入することも視野に入れている。